

「2012 健康の里フェスティバル」の最後の行事に町内外から約 3,000 人の来場者がありました。富合町の魅力の一つ農業をアピールし、健康に対する関心もまた強いことがわかった企画です。

講演会

「老いを活かす 人生 80 年はあたりまえ」と題し、ピネル記念病院理事長 小笠原 嘉祐先生が講演。先生は精神科医です。講演の中から一部紹介します。「老年期が長期化しているのは豊かさの証です」「高齢化率が7%から 14%まで達する所要年数が速かった。24 年で到達」とそのスピードに財政が追いつかなかったのが問題ですと指摘。

「老いたら“物忘れはする。頭に入らない”は当たり前。経験をいかに活かすかです。そして今生きていることが重要なのです」「平均寿命の伸びを阻むものに“貧困・栄養・ストレスがあります。過度のストレスは健康を害する。しかし、ストレスは生きている限りなくならない」とストレス対処法を教えてくださいました。

①「いい加減」を身につける。(いい湯加減の湯を除いたいい加減です) ②表現する・発散する ③伝える・伝わる ④一人で、いつも背負わない ⑤アバウト思考 ⑥待つ ⑦自分のペースを大事に ⑧甘える ⑨うまく忘れる ⑩しなやかに、したたかに 以上 10 項目です。

うなずくことばかりの講演会でした。みんなで老いを楽しみましょう！「先生ありがとうございました」



小笠原先生

催しもの

会場には「健康の大切さを知り、健康の輪を広げましょう」と「骨密度・体成分測定・健康チェック・歯の健康コーナー・高齢者福祉・介護相談所・認知症簡易健診」などが設置されました。



体成分測定



健康チェック



歯の健康コーナー



保育園児の将来の夢

産業祭

「農産物品評会」には 100 点のわが家自慢の農産物が並びました。審査員 (JA 宇城営農指導員) が 1 品 1 品ていねいにチェック。「ごぎゃん立派なやさい!」「見事ですなー!」と人気のコーナーです。



審査も真剣です

「おめでとうございます」

金・銀・銅賞を紹介します。

金賞	レンコン	志垣 啓	(敬称略)
銀賞	つくね芋	守川 富雄	(小岩瀬)
銀賞	ブロッコリー	木村 優子	(田 尻)
銅賞	白菜	石田 和夫	(碓 江)
銅賞	大根	緒方 安子	(上 杉)
銅賞	長ネギ	大森 幸子	(大 町)



金賞の「レンコン」です

「米計量コンテスト」

毎年人気コーナー。
富合町の自慢のお米です。



「1kgはこんくらい?」

「販売コーナー」

野菜、もち、はちみつ、山菜おこわ、辛子れんこん等を商工会、地元生産者、生活研究グループなどが出店。



「昨日と今朝7時から準備」



「いらっしゃいませ」

お楽しみ抽選会

「あたり」は年令に関係なしにうれしいものです。今年は協賛団体(富合工業団地協同組合・富合商工会・緑川養殖漁業生産組合・うなぎの徳永・ナフコ富合店)に「農産物品評会」への出展品が加わりました。抽選毎に笑顔と拍手があふれた「アスパル富合ホール」でした。「ありがとうございました」